

体罰の実態把握に係るアンケート調査結果（概要）

1 調査方法

- (1) 調査対象期間
令和7年度
- (2) 調査対象者
新潟市立を除く県内すべての公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒、保護者及び教育職員全員
- (3) 実施方法
記名式アンケート調査

2 事実関係の把握

「体罰を受けた」「体罰を見た」「体罰を行った」と記載された回答があったものについては、管理職が聞き取り調査を行い、事実関係を把握した。

3 調査結果の概要（ ）は令和6年度

校種	報告件数	体罰	不適切な指導
小学校・義務教育学校(前期)	103 (69)	3 (3)	21 (32)
中学校・義務教育学校(後期)	52 (25)	0 (0)	11 (7)
中等教育学校	1 (0)	0 (0)	0 (0)
高等学校	18 (20)	4 (0)	2 (10)
特別支援学校	2 (1)	0 (0)	2 (1)
計	176 (115)	7 (3)	36 (50)

4 調査結果への対応について

体罰と判断した事案については、調査の上、厳正に対応する。

不適切な指導と判断した事案については、当該教員を厳しく指導するよう校長（市町村立学校にあつては市町村教育委員会）に指示し、その結果について報告を求める。

5 体罰の防止に向けた今後の取組について

令和7年度においても体罰事案が発生したことを重く受け止め、校長（市町村立学校にあつては市町村教育委員会）に対し、体罰の防止について校内研修等により教員への指導を徹底するよう指示する。

また、体罰が疑われる事案が発生した場合は、教職員から管理職、管理職から県教育委員会（市町村立学校にあつては市町村教育委員会）への報告が速やかに行われるよう、改めて徹底をはかる。